

# Challenge Series vol.9

## 大岡川の中を歩いてみた! どこまで上流に行けるかな?



できることなら源流域まで!と念願の川歩きスタート。安全第一で行けるところまで行ってみよう!!

**スタートは弘明寺  
おなじみの飛び石から**  
源流域から河口まで、幾度も歩き、SUPでも、漕艇可能な水深を保てる弘明寺辺りまでは何度も行き来してきた大岡川。  
念願の川の中を歩くことに挑戦しようと、残暑長引く9月中旬、早朝の弘明寺、桜橋近くの親水施設を出発した。  
水深は、記者のくるぶし

上からひざの高さで、思ったより歩きやすい泥の川底をザブザブ進んだ。  
水は意外にも澄んでいて、泥に埋まる古い型の携帯電話や空き缶などのゴミを多く見つけた。  
大正期、近くに有名な窯場があったと聞かすが、陶片の多くは、飯茶碗や小皿などの雑器のようだ。  
地元の方にうかがうと、

土の移動も考えられ、一つ一つの陶片の素性は正確にはわからないようだ。  
掘り返されたのか持ち込まれたのか、不確かな要素は多いが、川は生活ゴミを長い年月堆積させて、地域の歴史をその懐に溜め込んでいる。  
流域の生活記録でもある無数の陶片を見つけ、大岡川に眠る過去に触れた気がした。



川底の陶片の中に、古いヒューズボックスを発見。泥に埋もれた陶片を手に取ると、流域の過去に触れた気がする。

明治・大正期の陶片らしいが、埋立による

**大岡川の生き物  
たくさんみつけた!**  
そして、川歩きで最も気持ちが良いのは、生き物たちとの出会いだ。

数日前の台風を乗り越え、相変わらず悠々としたたずまいの巨大鯉やアオサギも健在。大きく成長したカルガモの子にも再会できた。露店で売られたものだろうか、小さな金魚も時折見かけた。  
道行く人が「今日はカワセミがいるよ」と教えてくれたが、こちらは見つけれなかった。

### 時間と場所で変わる 川の水量と水圧

クロアゲハがふわりと飛び、水面近くをシオカトンボがゆく。茂みから飛び立ったセグロセキレイを追って見上げた空は、いつの間にか高く、時折、涼しい風が吹いた。  
夏の緑はツヤを無くし、



オスのシオカトンボ。沢山造詣できたけど、トンボの季節もそろそろおしまい。

ススキが茂り始めた辺りは、秋の匂いも漂う。  
季節の変わり目を感じながら夢中で歩いたが、越戸橋を過ぎた



中里橋付近の河川浄化システム。エビやカニなど、水棲小動物や苔などを増やすことで浄化効果をもたらしている。撮影：豊田直之

辺りから、急に水の流れが早くなり、水位がぐんと上がった。  
川底が見えなくなったことに加え、強い流れが前進しようとする足を押し戻す。ついさっきまでの穏やかな流れからの急転に脅威を

感じ、陸に上がった。人間にはどうにもコントロールできない自然の力を改めて思い知ることとなった。  
2km足らずの短い川歩きだったが、川底の泥の感覚は今も記者の足裏に残っている。

### 大岡川野鳥観察記 No.15

#### ウミネコ

海猫【Black-tailed gull】  
チドリ目カモメ科 46cm



名前にカモメは付きませんが神奈川県でもあるカモメの仲間。留鳥または漂鳥として沿岸、河口などに生息。食性は雑食で、サカナや両生類、昆虫などを食べます。翼を開くと120cmにもなりスマートに飛んでいる姿を横浜港や大岡川河口付近で観察することが出来ます。  
名前の由来は鳴き方がネコの声に似ていることからウミネコと呼ばれるようになりました。

成鳥になりかけの若鳥。嘴がまだ青っぽく、徐々に赤みがさしてきています。脚も黄色になりきっていません。撮影：道下勝基  
オスとメスは同じ色で区別はつきません。幼鳥は全体的に黒褐色で3年から4年で成鳥となり、灰色と白のおなじみの色になります。頭部に関しては夏の間は白く、冬になると灰褐色が混じります。  
青森県八戸市の無島、島根県出雲市の経島など数か所が繁



水面に向かって急降下している成鳥。頭部が褐色になっているのは冬羽に換羽中のためです。撮影：道下勝基

殖地として国の天然記念物に指定されています。横浜にいるウミネコの繁殖地は特定されてはいないようです。  
これからの時期、ユリカモメなどと一緒に観察できます。黄色い嘴の先が赤く、尾羽に黒い帯があるのが特徴のウミネコ。区別しながら観察してみたいかがでしょうか。



向田橋付近のゆったりした流れを行く。全長約14kmの短い川だが、川幅も水深も、それに伴う水の勢いも、刻々と変わる。撮影：豊田直之

**Radio Taxi**  
ラジオタクシー

おかげさまで創業65周年

**アサヒタクシー株式会社**

子育てタクシー 陣痛119番  
小さいお子さんとの外出も安心!  
研修を受けた安心ドライバーが担当  
チャイルドシート 完備!!

アサヒタクシーは環境を守る企業経営に責任を持って取り組んでいます

羽田空港 定額運行サービス  
西区・中区より 普通車 5,800円 (高速料金別途)

本社・山手営業所  
0120-39-9875  
〒231-0851 横浜市中区山元町4-188 番地  
http://www.asहितaxi-hama.co.jp

あなたに寄り添うクルマ、それがボルボ。

THE NEW **VOLVO XC40**

ボルボ・カー横浜西口  
横浜市西区楠町 12-10  
首都高速 横浜西口ランプそば  
TEL:045-321-0990

ボルボ・カー横浜西口 検索